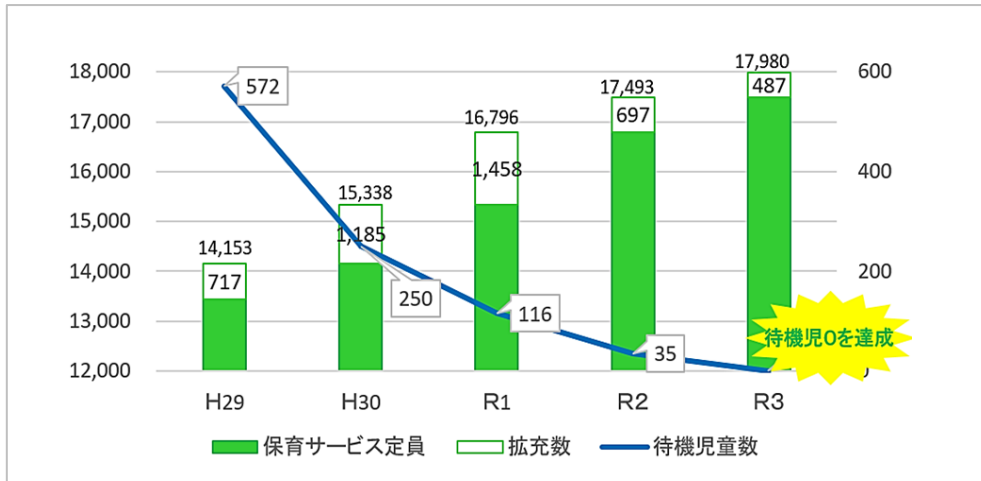


待機児童の状況と保育の質の向上について

1. 待機児童の状況

区はこれまで、保育施設の整備に取り組み、認可保育園数は令和3年4月には190園と増加し、保育サービス定員は、多様な保育サービスの提供と併せて17,980人に拡充した。

この結果、令和3年4月1日現在、長年の目標であった待機児童数ゼロを達成した。



2. 今後の施設整備の考え方

今後の待機児童対策は、既存保育園の欠員の活用や家庭福祉員等の利用など、施設整備によらない保育サービスとのマッチングを中心に行っていく。

待機児童の発生は、育児休業延長のための申請増などに加え、コロナ禍における社会状況の変化もあり、今後の予測は難しいが、1歳、2歳児は待機児童が発生しやすいため、入所数の推移を正確に把握し、施設整備の必要性を検討していく。

3. 保育の質の維持・向上

医療的ケア児やアレルギー児、外国籍世帯への対応など様々なニーズがあり、また、特別な支援を要する児童が増加傾向にある中、安全安心な保育環境の維持と向上がますます求められている。

このため、今後は職員の能力向上や各施設の連携を進めていく。

